東京女子大学「女性研究者研究活動支援事業　女性研究者支援の継続に向けて」

【現状と研究活動支援の概要】

H24 年 8 月に「女性研究者研究活動支援事業」選定され、女性研究者の研究活動を支援するとともに女性研究者の在籍比率、上位職在職比率の向上に努めてきた。H26 年度は以下の女性研究者研究活動支援事業を推進するとともに、本年度を以て補助事業期間が終了することから、外部評価を含め、事業の成果と課題を点検し、H27 年度以降どのように大学の恒常的事業としていくかを検討している。

【H26 年度の活動状況】

１．研究支援員制度の整備

・活用状況：2014 年度：前期 8 名（育児 5､介護 3)、後期 7 名（育児 4、介護２）

・研究支援員によるデータ入力、文献検索等により、ライフイベント期の研究が促進され論文執筆、学会発表の実績へとつながっている。

２．意識啓発のための活動

・男女共同参画セミナーを開催（H25.11.4）浅川智恵子氏 日本 IBM㈱IBM フェロー

・文理融合シンポジウムを開催（H26.3.19、5.19）

・女性研究者支援の継続に向けて「女性研究者研究活動支援事業」成果報告会を開催予定（H26.11.3）

・IEEE との共催で「女性が拓く未来のテクノロジー2014」を開催（H26.7.5）

・４女子大学共催で「女子中高生のためのサイエンスフェスティバル」を開催（H26.8.31）

・活躍する女性研究者をロールモデルとして紹介。インタビューを大学院生が実施することにより先輩女性を身近に感じかつ、質問、構成、表現力の向上に効果を発揮している。

３．広報（研究者にとって有用な情報発信）

・ホームページ、Facebook の活用：支援員制度、活動報告、インタビュー、教員採用情報、各種セミナー開催、研究助成金情報、ニュースレター（Vol4,5,6）等の情報を発信。

・メールマガジンの発行：登録者が 62 名から 124 名に増加。発行数は H26.10 現在で 12 回。

・ロールモデル集の作成中：学内・外、大学院進学希望者、関係各所へ配布予定。

・大学広報誌への記事を執筆・掲載。

４．学内制度及びニーズに関する調査・分析

・1993 年 3 月～2012 年 9 月他大学大学院進学者へのアンケート調査実施　323 名対象、回答者数 79 名（回収率　24%)。分析を実施し、報告書を準備中。

・託児制度の整備について調査し、講演会等開催時に託児を実施する体制を整えた。

５．研究者の交流促進

・研究者交流会 9 回開催（H25.7.19/10.24/11.18/11.22/12/11/H26.1.30/3/13/6.10/6.16/7.31）H26.10.24 で通算 15 回の開催となる。情報交換、対話ができる場として効果をあげている。

・女性研究者支援室オープンデーの開催（H26.4.14～16）

・スキルアップ講座の開催（H26.8.20）

６．相談体制：学内外の教育研究職に関する相談、大学院生の進路に関するキャリア相談等を実施。

７．女性研究者支援の継続にむけて：本事業の自己点検・評価を行い、外部評価を実施。

【連絡先】　東京女子大学　女性研究者支援室
TEL: 03-5382-6173　FAX：03-5382-6173　E-mail:sowr@lab.twcu.ac.jp
URL： http://www.sowr.jp/

文部科学省　女性研究者研究活動支援事業　平成 24 年度選定

東京女子大学　女性研究者研究活動支援事業

女性研究者支援の継続に向けて

女性研究者支援室は、女性研究者が能力を充分に発揮し、出産、子育て、介護などによって研究活動に支障をきたさないよう、研究環境を整え、様々な情報を発信し、研究職に就いている人だけでなく、これから研究者を目指す女性のためにも働きやすく、学びやすい環境を作ります。

研究者の交流 ～Table Talk～

Table Talk とは、研究者・大学院生の交流促進を目的とした会です。
当初は東京女子大学の OG や研究者の方をお招きしていましたが、vol.6 からは、大学院生や修了生が会の中心となり始めました。

vol.10 からは大学院生自らが企画・実施する形となり、vol.12 からは大学院生の**「院生同士のタテとヨコのつながりがない、つながりたい」**という声から、**院生主体の「院生の　院生による　院生のための会」**を開催するようになりました。
大学院生が関心のあるテーマで大学院生同士が対話する会へと発展しています。

春

日時	vol.	タイトル	参加人数
2013 年			
4/25	1	無理をしない二足のわらじの履き方	11 名
6/6	2	旅する管さんと語る＜幸せって何？＞	11 名
6/12	3	新しい視点を持ち込む勇気	6 名
6/20	4	研究者のライフワークバランス ～答えは自分の中にある～	3 名
7/19	5	湊晶子元学長　公開インタビュー	12 名
10/24	6	遊んで、産んで、つながって	5 名
11/18	7	想いと出会いが道を開く	3 名
11/22	8	響子の部屋　～修士課程を語る～	5 名
12/11	9	博士課程のすべて	8 名
2014 年			
1/10	10	エーク・カーム・カロー　少女よ、大志を抱け！	9 名
3/13	11	映画「ハンナ・アーレント」から考えるドイツ史	3 名
6/10	12	院生の　院生による　院生のための会	18 名
6/16	13	教員 特任研究員 院生 ポスドク研究会	4 名
7/31	14	今、平和について対話する	25 名
10/24	15	誰に話そう、これからの私 ―就職？ 進学？ 将来どうしよう？―	開催予定

セミナーの開催

・リベラル・アーツについて考える

H26.3.19 開催
第 1 回
文理融合シンポジウム
参加人数：34 名

・問いを立てる

ー女子大におけるリベラル・アーツを考えるー

H26.5.19 開催
第 2 回
文理融合シンポジウム
参加人数：約 100 名

・女性が拓く未来のテクノロジー 2014

H26.7.15 開催
IEEE JC WIE との共催
参加人数：約 100 名

・女子中高生のための サイエンスフェスティバル

H26.8.31 開催
4 女子大学共催

夏

研究者支援員制度

・制度利用者状況

	支援員制度利用者			研究支援員			
年度	育児	介護	計	前期課程	後期課程	修了者	計
2013 年 前期	3	3	6	2	3	1	6
2013 年 後期	4	3	7	3	2	2	7
2014 年 前期	5	3	8	5	2	1	8
2014 年 後期	4	2	7	5	1	1	7
	※前期・後期共に育児による利用者のうち 1 名は男性研究者（配偶者が研究者）						

・制度利用による研究成果（2013 年度）

研究者	論文	受諾待ち	学会発表	学会開催	研究支援員が行った主な業務
A	4		1		資料収集・資料目録作り等
B		1	1		記事検索・データ入力
C		1	1		データベース作成
D	1		2		データベース作成 データ入力
E	1		1	1	データ整理・資料作成
F	1		1		実験データの収集・整理
G	1		1		データ入力
計	8	2	8	1	

今後の課題として、支援対象者・期間・内容について多様な要望に対応するべく、さらなる制度の充実が必要となっている。

秋

情報発信

・ホームページ　Facebook

ホームページ
総閲覧回数
53616 回
（H26.10 現在）

・News Letter

vol.3　2013 年秋
vol.4　2014 年春
vol.5　2014 年夏
vol.6　2014 年秋

・ロールモデル集『リアル』（※作成中）

※画像は現在編集中のものです。

・メーリングリスト

登録者：開始 62 名 → 現在 124 名
H26.10 現在で 12 回発行

・インタビュー

1st Season
東京女子大学卒業生　計 10 名

2nd Season
東京女子大学教員　計 5 名

冬

東京女子大学　女性研究者支援室 [redacted]

TEL/FAX 03-5382-6173　E-mail sowr@lab.twcu.ac.jp　URL http://www.sowr.jp/